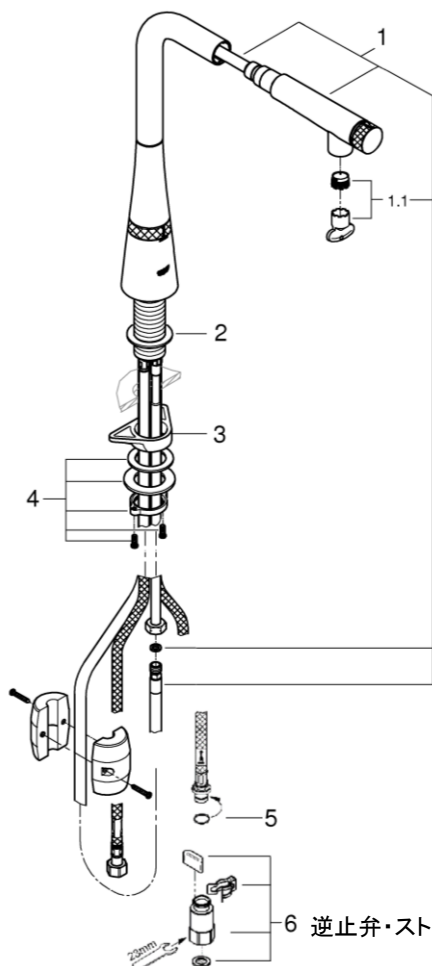


ゼドラ スマートコントロールキッチン混合栓据付説明書 (お客様にお渡しください)

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この据付説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。
- 同梱部材の数量、キズ等の確認をしてください。

各部名称



スプレーヘッドとシャワーホースは接着されています。
無理に外さないでください。

| 図番 | 名称 |
|-----|-------------------|
| 1 | スプレーヘッド(ホース一体型) |
| 1.1 | ストレーナー・エアレーター専用工具 |
| 2 | 水漏れ防止パッキン(本体に付属) |
| 3 | 三角固定版 |
| 4 | 締付セット |
| 5 | Oリング |
| 6 | ストレーナー付きクイックソケット |

- ※ 必ず施工前に欠品やキズの有無をご確認ください。
- ※ 欠品やキズがあった場合は遅滞なく購入先へ連絡をお願いします。
- ※ 水道工事を実施しない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継ぎをお願いいたします。
- ※ エアレーター専用工具は施工後、お客様にお渡しください。
- ※ 水受容器を設置される場合は、ホースの作動に干渉しづらい、市販のトレー式浅型タイプをおすすめいたします。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー・ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

一度、水を含んだパッキンは水漏れの原因になります。再度使用しないで新品をご用意ください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.1MPa[1kgf/cm²](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm²](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

やむなく圧力差が生じる場合は最大3:1以内になるようにしてください。

(例: 給水圧力0.2/給湯圧力0.2、給水圧力0.6/給湯圧力0.2などのように設定ください)

◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず止水栓を設置してください。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

●配管接続部を隠ぺいしないでください。

●給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

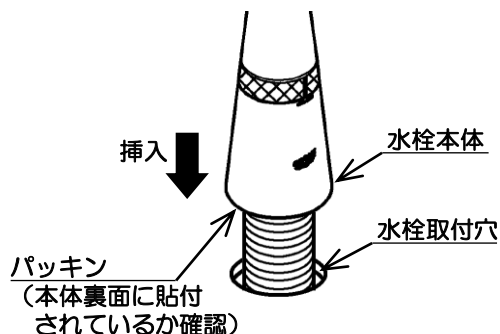
●クイックソケットの接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2,R1/2)には使用しないでください。

また止水には付属のパッキンを必ず使用してください。

据付手順

1. 取付け穴への設置

1. 本体をカウンター上部から取付け穴に挿入します。



注意

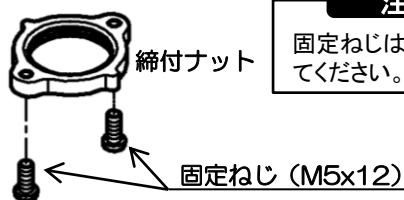
- ・取付け穴が本体の中心になるよう注意してください。
- ・本体裏面にパッキンが貼付されていることを確認してください

ポイント

ホース同士がぶつかって取付け穴に入れづらい場合は片側から入れるなど少しずつずらしながら入れてください。

2. 本体の固定

1. 締付ナットに固定ねじをねじこみます。



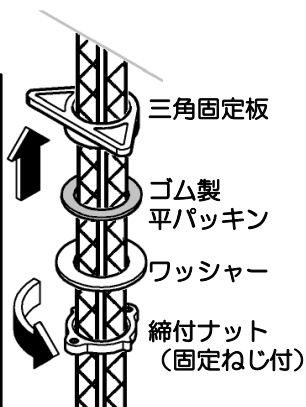
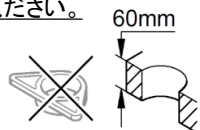
注意

固定ねじは必ず使用してください。

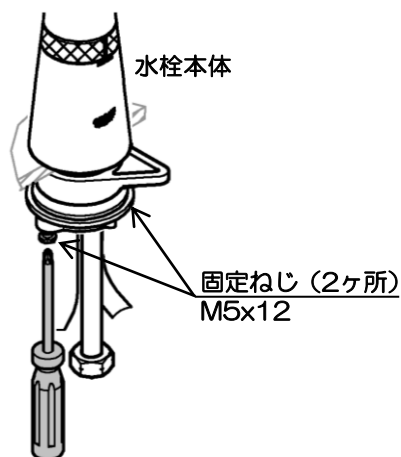
2. カウンター下から三角固定板、ゴム製平パッキン、ワッシャーをホースに挿入し締付ナットを締めつけていきます。

注意

- ・締付ナットは手でしっかりと締めつけて下さい。
 - ・カウンター厚みが60mm以上の場合、三角固定板は使用出来ません。
- 締付ナットでしっかり固定してください。



3. 締付ナットの固定ねじ(M5x12)を交互に最後までねじこみます。



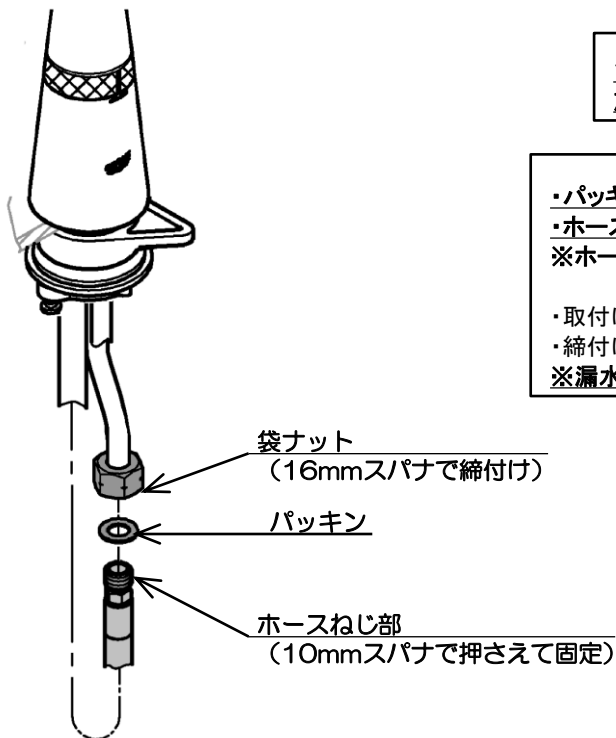
注意

- ※固定ねじは必ず少しずつ交互に締めつけてください。片寄った締付になると固定強度が不十分となるおそれがあります。
- ※水栓本体が確実に固定されていることを確認して下さい。

据付手順

3. 吐水管と引出しホースの接続

吐水管の袋ナットにホースねじ部を取付けます。



注意

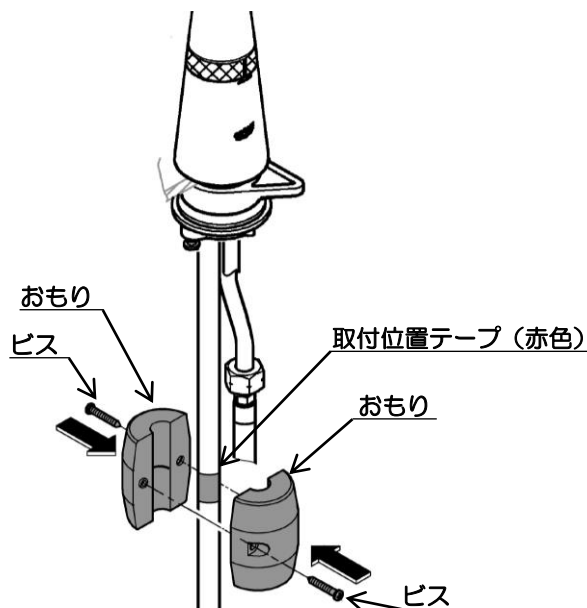
1次側給水圧が常時かかる部分の為
施工後の漏水確認は十分にして下さい。

注意

- ・パッキンはサイズを確認して必ず取付けてください。
- ・ホースがねじれないように注意してください。
※ホースのねじれは漏水の原因になります。
- ・取付けには必ず工具を使用してください。
- ・締付け過ぎにご注意ください。
※漏水の原因になります。

4. ホース用おもりの取付け

ホースの取付位置テープをおもりで両側からはさみ、ビスで固定します。



ビスはプラスドライバーで
両側から交互に締付けてください

ポイント

おもりは、スプレーヘッドの納まりをよくするためと、
引き出したときのストッパーの役目をします。

注意

おもりは必ず取付位置テープの位置に
取付けてください。
※引出しホースが破損し漏水の原因に
なります。

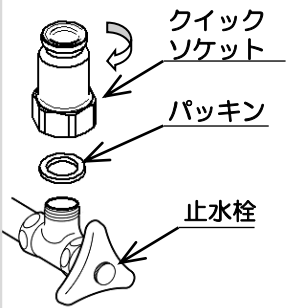
おもりは必ず
赤色テープの位置に
取付けてください



据付手順

5. クイックソケットの接続

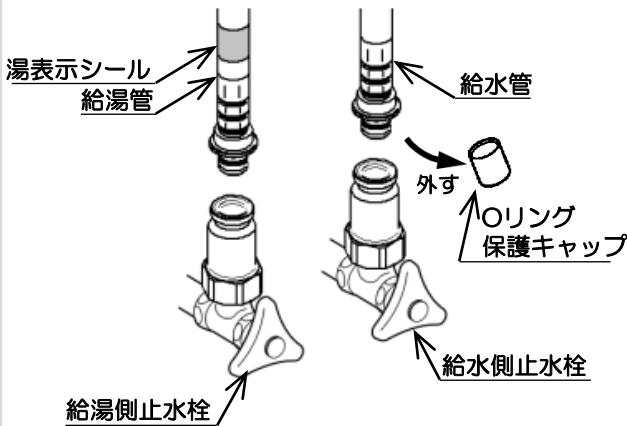
1. 逆止弁アダプターを止水栓に固定します。



注意

締付は200~300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

2. 給水・給湯管を接続アダプターに差し込みます。



注意

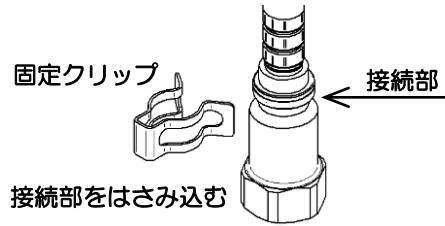
給水・給湯管を曲げる場合は、曲げ半径60mm以上確保してください。※漏水の原因となります。



注意

- ・給水・給湯管同士が接触しないよう、注意してください。
 - ・給湯配管には給湯ホースのみ接続してください。
 - ・給水・給湯管がねじれないよう注意してください。
- ※漏水の原因になります。

3. 固定クリップを給水／給湯管とクイックソケットの接続部にはめ込みます。



注意

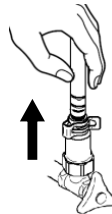


固定クリップでケガをしないようご注意ください。

注意

給水・給湯管の不要な接触は避けてください。※摩擦によりホースが劣化する恐れがあります。

注意

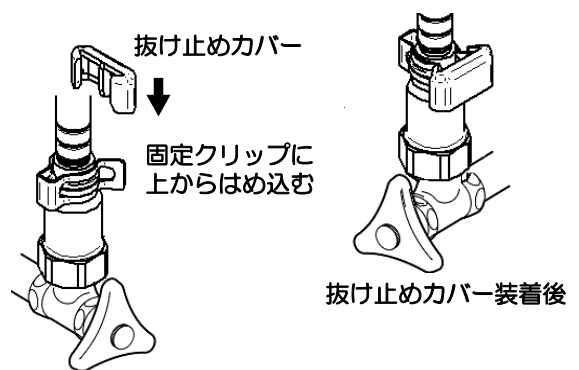


確実に接続されていることを確認してください。給水・給湯管を上を引き、ソケットから外れないことを確認してください。

注意

固定クリップはゆるまないよう、しっかりとめ込んでください。※漏水の原因になります。

4. 抜け止めカバーを固定クリップにはめ込みます。



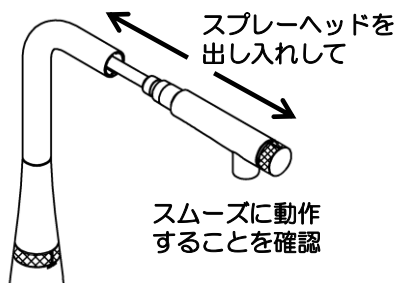
お願い

配管が設置されておらず、接続アダプターが接続できない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継いでいただき、配管への接続をお願いいたします。

取付後の確認

1. スプレーヘッドの動作確認

1. スプレーヘッドを出し入れし、ねじれや引っ掛かりがなくスムーズに動作することを確認してください。

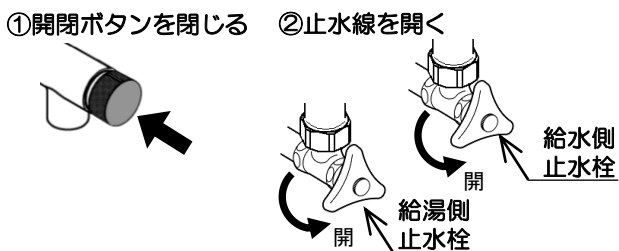


注意

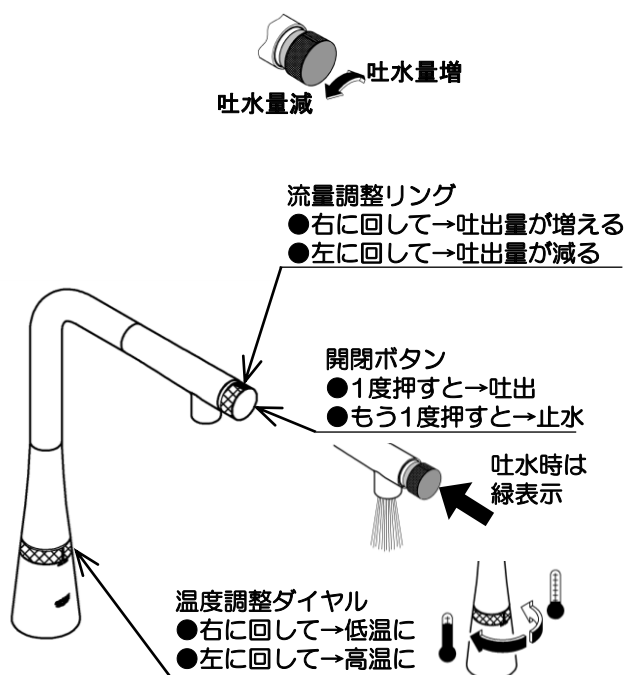
シャワーホースが給水・給湯管と干渉しないことを確認してください。
引き出しホースが干渉している場合は「3. 吐水管と引出しホースの接続」「4. ホース用おもりの取付け」を確認して組付け直して下さい。
※摩擦によりホースが劣化し、漏水する恐れがあります。

2. 通水確認

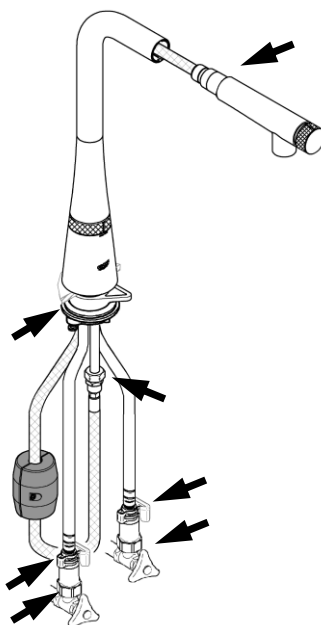
1. 水栓の開閉ボタンを閉じ
給水・給湯の止水栓を開きます。



2. 開閉ボタンで通水し、温度調整ダイヤルを
まわして湯水の通水確認をします。



3. 開閉ボタンで止水し、接続部からの漏水がないか確認します。



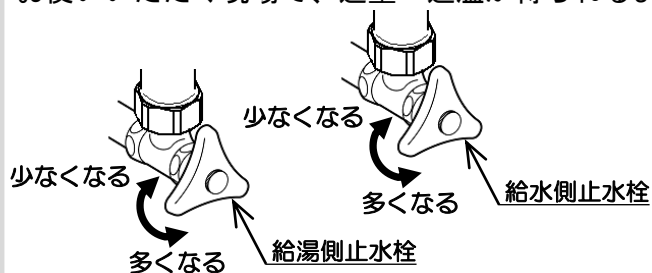
注意

※万が一漏水が確認された場合は、パッキンを新品に取り替え、再度規定のトルクで締付を行ってください。
※Oリングの切れ等が漏水の原因となります。

取付後の確認

3. 流量調整

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。

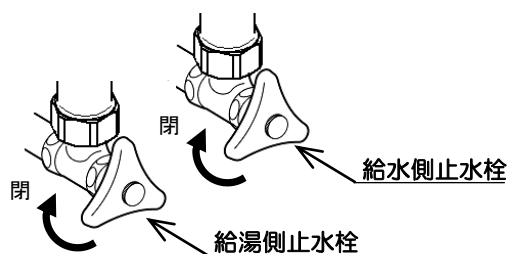


注意

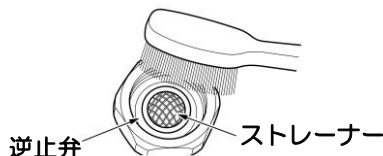
流量調整リングを全開にしたときの流量が湯と水でそれぞれ約8L/min(※)を超える場合は止水栓で流量調節をして下さい。
(※1リットルの容器をいっぱいにするのに約7~8秒)
※流量調整リングでは、微調整のみ行うようにしてください。

4. クイックソケットのストレーナー清掃

1. 止水栓を閉じます。



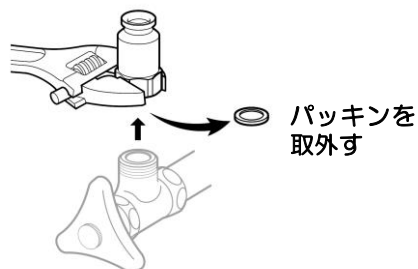
3. ストレーナのゴミ等を歯ブラシなどで洗剤を使わずにこすり落とし、水洗いして除去します。



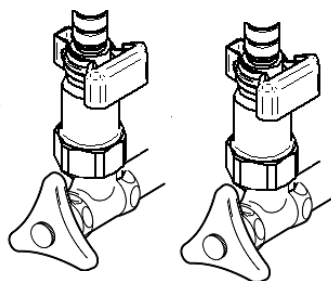
ポイント

設置直後にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

2. 給水、給湯ホースを外してからクイックソケットを外して、パッキン(青)を取り外します。



4. パッキンを元に戻して逆止弁ソケットを止水栓に固定し給水、給湯ホースを取り付ける。



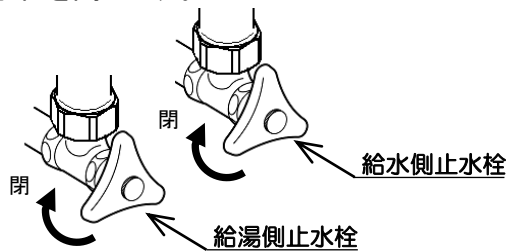
ポイント

パッキンは新しく交換することをお勧めいたします。

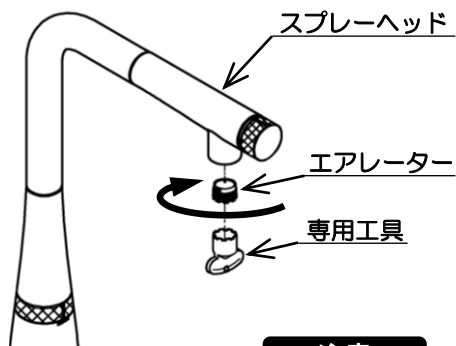
取付後の確認

5. エアレーターの清掃

1. 止水栓を閉じます。



2. 専用工具を使用し、エアレーターを反時計回りに回してスプレーヘッドから取外してください。



注意

エアレーター側面のOリングを傷めないよう慎重に作業してください。

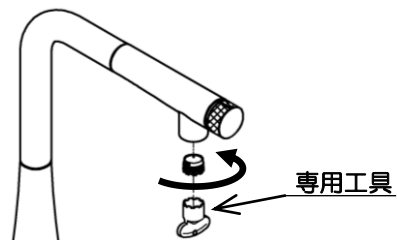
3. エアレーターとストレーナーに付着したゴミを取り除きます。



ポイント

設置直後にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

3. 専用工具を使用して、確実にエアレーターを取付けます。

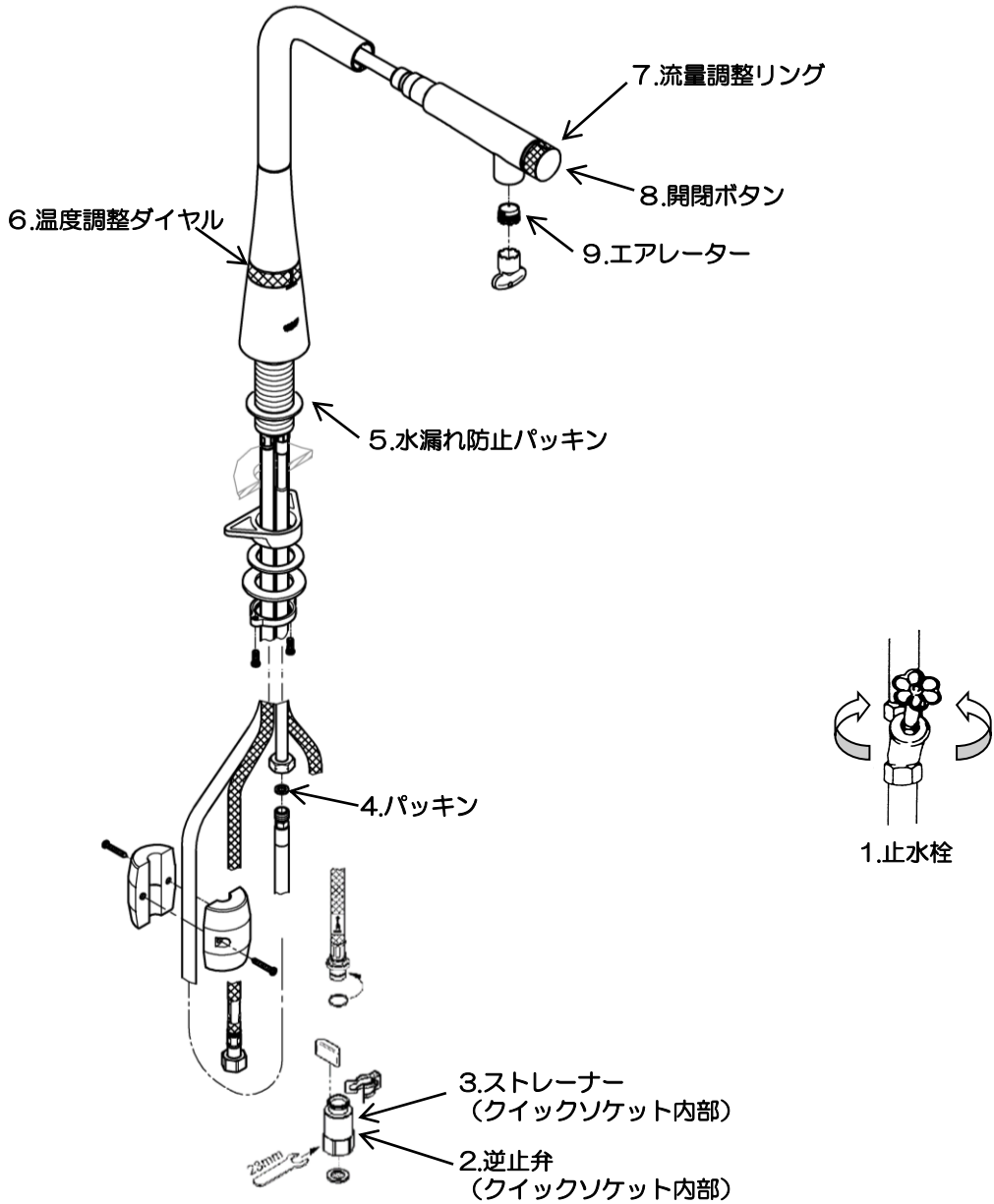


注意

専用工具は施工後、お客様にお渡しください。

故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



| 現象 | 点検箇所 | 確認ポイント |
|-----------|------|---------------------|
| 吐水量が少ない | 1. 7 | 全開されていますか？圧力は十分ですか？ |
| | 2 | 破損・ゴミかみはありませんか？ |
| | 3. 9 | ゴミ詰まりはありませんか？ |
| 水が止まらない | 8 | 破損はありませんか？ |
| 温度不良 | 1 | 全開されていますか？圧力は十分ですか？ |
| | 2 | 破損・ゴミかみはありませんか？ |
| | 6 | 破損はありませんか？ |
| カウンター内の漏水 | 4. 5 | 正しく取付けられていますか？ |

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>